高松市立下笠居小学校 学校だより　　令和５年度

下小だより 10月号

※ 学校の様子は、ブログでご覧ください。(http://blog.edu-tens.net/e-simoka/)　下笠居小

「読書の秋」に…

夏休みが明けた9月は、まだ残暑が厳しく、熱中症も心配されていましたが、最近は少し涼しく感じられるようになりました。いよいよ秋本番です。この季節は物事に集中して取り組むことに適した時期で、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋など、様々な秋の取り組みがあります。本校でも、陸上記録会や教育文化祭、読書月間など、子どもたち一人一人がそれぞれの秋で活躍できるよう声を掛けていきたいと思います。保護者の皆様も、子どもたちへの励ましをお願いします。

ところで、みなさんは、なぜ「読書の秋」というのか知っていますか？調べてみると、中国の唐時代の詩人 韓愈(かんゆ)が読んだ漢詩が元になっているそうです。この漢詩から、「燈火(とうか)親しむべし」という言葉が日本に伝わり、“秋の夜は灯りをともして読書をするのにふさわしい”というイメージになったそうです。しかしながら、今の時代はゲームやインターネットなど、読書以外で子どもたちを魅了するものがたくさんあり、「読書離れ」が加速していると言われています。現代社会において、これらをすべて否定することはできませんが、子どもたちがじっくり本を読むことの素晴らしさを体感できるようにしたいと思います。保護者の皆様も、子どもたちと一緒に本を読んでみませんか…。

「GIGA端末の持ち帰り」と「学びのたより」…

【下小ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞのﾄｯﾌﾟﾍﾟｰｼﾞ(一部)】

9月の三連休が明けた頃から、GIGA端末の持ち帰り運用が始まりました。保護者の皆様には、電子連絡帳やドリルなど、これまでにないことをするため、不安になることもあるかもしれません。学校とご家庭との個別のやり取りは、これまで通り紙の連絡帳を使ってまいりますので、よろしくお願いします。

なお、GIGA 端末の持ち帰りが始まって、充電をご家庭でしていただくようになりました。しばらくの間は、充電できているかどうか声を掛けていただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いします。

また、10月13日(金)に、「学びのたより」を子どもたち一人一人に、各担任から渡します。「学びのたより」は、お子様の学校での様子をお知らせする「学習や生活の記録」であり、「成長した軌跡」です。家庭と学校が協力して、子どもたちをよりよく育てていくためのものですので、ご家庭でも、学校生活について話し合い、学習面・生活面のよさをほめていただけるとありがたいです。なお、ご覧になって気になることがありましたら、遠慮なく担任までお知らせください。

「楽しい」音楽を目指して…　【音楽専科　向井　強】

音楽では、子どもたちが「楽しい」と思えるよう、学年に合った活動を取り入れて、授業を行っています。

1・2年生は、楽しくリズムを学べるように、曲にのって、ボディーパーカッションをしています。授業で学習したリズムを生かして、音楽に乗って体を使って音を出す活動をしています。3・4年生は、新しく使うリコーダーが上手になるように、いろいろな曲を練習しています。今、流行している曲も演奏し、リコーダーが好きになってほしいと思います。5・6年生は、今まで学習した内容を生かして合奏をしています。合奏では、今まで学習してきた知識や技能を生かす必要があります。リコーダーから始まり、鍵盤楽器、打楽器とそれぞれの役割に分かれて、合奏するので、子どもたちの表情も必死です。5年生は、来年度の音楽発表会に向けて、今練習している合奏曲「群青」を演奏する予定です。発表会に向けても、子どもたちと一緒に音楽を楽しく演奏できるように、活動していきたいと思います。

また、9月25日(月)には、プロのピアニストを体育館にお呼びして、「魔王」等、クラシックの名曲を全校生で鑑賞しました。生の演奏を聴くという経験を通して、子どもたちの感性が育っていくことを願っています。